



打ち合わせの  
成功ポイントはどこ？

建ててよかった！

先輩の家を

訪ねました

家づくりで後悔しないためには、  
打ち合わせで自分たち家族の要望や、  
生活スタイルを伝えることがとても大切。  
先輩たちに成功ポイントを  
教えてもらいました。

庭に面した大きな窓とトップ  
ライトから、自然光がたっ  
ぷり差し込む明るいLDK。

case 1

細かなところまで打ち合わせを重ねて、  
庭とつながる開放感と暮らしやすい動線、両方を叶えた

○ファミリー 夫(38) 妻(39) 長女(4) 富山県富山市  
もうすぐ二人目のお子さんが産ま | 設計\_青山建築計画事務所 tel.076-435-6201  
れるというOさん。家族が増えて、 | <http://www.aoyama-architect.com>  
ますますにぎやかになりそう



白を基調にしたシンプルな外観デザイン。ムク材の玄関ドアと縁飾が、やさしい表情を与えている。

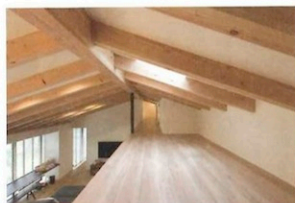


玄関でお出迎えするのは、奥様が好きな「リサ・ラーソン」の作品。すっきりとした玄関のアクセントに。

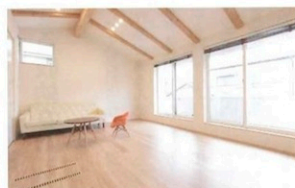


庭向きにプランしたスタディコーナー。親子で並んでお絵がきしたり、遊びスペースとしても活用。

天井から  
差し込む光と、  
青々とした庭の緑が  
心地よくて(妻)



トップライトからの光が、LDKを明るく照らす。



2階の子ども部屋。将来子どもが成長したら、2つに分けることもできる。



LDK横にある寝室。朝起きると庭の緑が目に入ってきて、気持ち良い朝を迎えられる。

敷地面積  
350.65㎡(106.07坪)  
延床面積  
185.68㎡(56.16坪)



ダイニングと一体型のキッチン。家具のテイストにあわせて造作した。



# Oさんの家づくりストーリー

長女が2歳のときに家づくりをスタート。打ち合わせでは、できるだけゆっくり話ができるように、実家にお子さんを預けて行くことが多かったそう。



一級建築士 青山 善嗣さん

打ち合わせでは、家族のライフスタイルや要望などヒアリングをとても大切にしているそう。

2016年9月  
打ち合わせスタート

どんな家になりたいか、今の暮らしについて設計士の青山さんと打ち合わせ。ここで話した内容がプランのベースになるため、2~3時間かけてじっくり話をした。

2016年11月

ファーストプラン提案

匂配天井せ、庭とつながる開放感がイメージ通りで、ファーストプランで大枠は決定したそう。

打ち合わせ

生活動線、収納、空間ごとの雰囲気など、イメージを共有しながら細かく打ち合わせ。着工するまでに10回ほど打ち合わせを重ねた。

2017年7月

着工

2018年1月

竣工

2018年3月

造園工事

## 成功Point!

打ち合わせでは、好きなものや新居に持っていききたいものまで伝えるのがおすすめ。そうすることで、好きな雰囲気に仕上がる。



トップライトから明るい光が差し込むLDK。リビング奥には個室を設けた。

## やっぱり、リビングにいる時間が一番リラックスできます

「寝室は1階なんです。Oさんからの要望だったんですか？」

青山さん(以下青)「アパートで暮らしていた時に、リビング近くに寝室があつて生活しやすかったので、新居もそうしたい」と要望がありました。

施主O(以下O)「子どもを寝かしつけた後に、キッチンやリビングにいても様子が分かるので、安心できました。」

「確かに、子どもが小さいうちは、夜に目をさましてママを呼んだりすること

もありませんね。2階に個室があると、子どもの声に気が付きにくいことも。」

O「1階に個室があるから、子どもが寝た後も、安心してリビングで夫婦でくつろぐことができます。」

青「やはり、リビングはとても大切な空間。間取りを考える時には、リビングに家族が集まるような仕掛けを考えます。みんなが心地よく感じられる空間をかたちにすることで、それぞれの居場所を造ることを大切にしていますね。」

## 大好きなリサ・ラソンを飾る家にしたい。隠す収納とみせる収納をバランス良く造ってもらいました

「リビングや玄関、トイレ、いろいろな空間にリサ・ラソンの作品があるんですね。アンティークな作品がナチュラルなO邸になじんでいて素敵です。」

O「もともとリサ・ラソンが好きで、いつか家を建てたら、集めてきた作品を飾りたいねって話してたんです。」

「見せる収納があると、お気に入りものを集めるのがもっと楽しくなりそうですね。」

青「リサ・ラソンが好きということはもちろんですが、どんな雰囲気のものかどのくらいあるのかということも含めてお聞きしました。お施主さんが好きな物を知ることが、家の雰囲気をつくるか考えることにつながるの、こちらからも積極的に質問しています。」

※リサ・ラソン：スウェーデンの有名な陶芸家・デザイナー。動物をモチーフにした作品が多く、ユニークな作風が魅力で日本にもファンが多い。



玄関の収納棚。あえて中央の部分を開けて、作品を飾るようにした。ダウンライトが作品を照らして、より素敵にみせている。



## 成功Point!

家づくりは取捨選択の連続。自分たちの優先順位を決めて、選んでいくことが大切。



大きな木で外からの視線を遮りたいこと、和の雰囲気によりすぎないようにというOさんの要望を叶えた庭。家族の憩いの空間になっている。

— 芝生がきれいなお庭ですね。これだけ広さがあつたらお子さんも遊べるし、いろいろ活用できそうです。

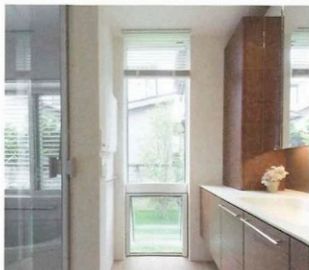
O そうですね。よくお庭にでて走り回って遊んでいます。リビングからも遊んでいる姿が見えるし、安心です。

— でも、これだけ広さがあつたらお手入れも大変なんじゃないですか？

O 確かに、お休みの日はよく夫婦二人で落ち葉を掃除したり、庭仕事をすることが多いかも。でも、そのそばで

子どもが遊んだりしていて、ゆったりとした時間が心地いいんです。楽しみながらできていますよ。

青 お手入れが必要という手間を伝えたいので、それも含めて庭に魅力を感じていただいたので、Oさんなら庭のある暮らしが楽しめると思います、自信を持って提案できました。打ち合わせのときには、いい面だけじゃなくて、デメリットもあわせて伝えたいので納得していただくことを大切にしています。



庭から心地よい光が差し込む洗面。自然光と緑でゆったりとした空間に。

**芝生の庭がほしくて、お手入れは必要だけど、それも楽しみの一つになっています**



**成功Point!**

間取りに関して迷った時は、良い面と悪い面を両方確認。そのうえで、判断すると納得できる家になる。

**成功Point!**

収納計画で大切なことは、どこに何を、どのように収納したいか伝えること。そして、収納する物のサイズを計って設計士に伝えること。



— 小さいお子さんがいらつしやるとは思えないほど、すっきり片付いていますね！

O セッかくの新居なのに、物が散らかるのが嫌で…。収納は多めに造ってもらいました。

— 各部屋に収納を設けたんですか？

O 服がたくさんあるので、寝室とファミリークローゼットに収納スペースを造ってもらいました。後は、ひな人形

などサイズが大きい物を収納できるように、2階に納戸もありました。

青 Oさんは、どこに何を収納したいかがはっきりしていたので、収納プランを立てやすかったですね。物のサイズも同時に教えてくれたので、入居後の後悔がなかったと思います。

— なるほど。サイズまで伝えることがポイントなんですね。



ひな人形を収納している2階の納戸。あえて仕切りをつけていないので、長さがある物もラクに収納できる。



左) 家族用玄関から続く、ファミリークローゼット。一人にひとつスペースを設けて、そこにカバンや上着などを片付けている。自分のスペースが決まっているので、片付けやすい。右) サンプルで干した洗濯物をそのまま片付けられるように、収納を設けた。タオルや普段着はここに収納することで、動線が短く、家事の負担を少なく。